

令和元年10月台風19号 佐久市入澤区はどのように動いたか

日	時間	入澤区の状況	だれが	どのように動いたか？
7日			区長	天気予報で災害規模の大きな台風になると危機感を覚えた
8日		気象庁300～500ミリの雨量予報	区長	過去の災害から、入澤谷川は決壊すると確信した
10日			区長役員	自主防災会本部役員が集会所で相談
11日			区長役員	自主防災会を開催 谷川氾濫を想定
12日	7:00	朝から大雨	区長役員	自主防災会の保護役員が集まる
	8:30		区長	佐久市危機管理課に青沼小学校の避難所要請
	9:00	入澤対策本部設置	消防	消防団約60人+OB、民生委員で避難の声掛け
	9:30	青沼小学校避難所開設	住民	数キロ離れた旭ヶ丘から5,6人避難
	13:00		役員	常会長(8地区)へ住民の避難依頼 車での避難を誘導し運転ができない高齢者は消防団が同行 体育館で保健補導員が見守り
	15:30		住民	青沼小学校 196名避難
			区長役員	対策本部を集会所から青沼小学校図工室へ移転
13日	17:30		消防	河川の確認・住民見守りをしていたが氾濫水位となったため避難
		谷川沿いの道路1.2キロが崩落し 数本の橋が流されていた	住民	消防団・民生児童委員が付き添い安全確認し、各自帰宅
			区長役員	消防団から被災状況を聞き道路状況・給水場所・簡易トイレ等記した地図を作成
14日			消防	道路・仮仮設情報の地図を全戸配布